

プロジェクト名	お金貸して！いいえだめです！
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2～B1 以上
期間	授業の後半 30 分を 2 回と宿題＋宿題 2 回
対象者と時期	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（1 年間の学習の最終段階）
計画案 <small>（課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン例）</small>	<p><b>課題</b> : 2 人～3 人のグループで、架空の話で良いので、理由を付けて、借金の申し込みをするための説得力のある手紙を書き、1 週間後に LMS に投稿する。また翌週には、その申し込みを断る作文の投稿も試みる。</p> <p><b>目的</b> : 1) 様々な依頼文を書けるようになる (A2～B1 以上レベルの writing)。2) 3 格と 4 格の目的語を同時に取る動詞の使い方に慣れる。3) 自分の主張や依頼の根拠を理由づけられるようにする。4) 副文の構造に慣れる。</p> <p><b>利用可能なツール</b> :</p> <p>学生: スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook, Bb9, moodle 等)。</p> <p><b>技術的な前提</b> CALL 教室等が使えれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、FLIPGRID などを使う。</p> <p><b>プロジェクト進行プラン</b></p> <p>① 準備: 1) 目的語として 3 格と 4 格の両方を取るいわゆる両格動詞 (schenken/ schicken/ geben/ empfehlen/ leihen 等) についてあらかじめ学習しておく。</p> <p>2) 買い物をめぐるやり取りなどで使う語彙 (Geld/ Euro/ Yen/ Preis, teuer/ billig/ günstig/ preiswert/ kosten/ brauchen/ zahlen/ bezahlen/ zuruuckgeben/ ) や 100 万までの数字についてもあらかじめ扱っておく。</p> <p>② 第 1 週: 4～6 人のグループで A4 サイズの白紙の真ん中に Geld と書いて作った Wortigel を中心に、この単語から連想するものを次々に書かせ、その後、クラス全体で板書して確認する (作文に使う語彙の活性化のため)。</p>

	<p>② 借金を申し込む手紙を書くという課題を説明する。その際、誰に借りるか（親・恋人・友人・見知らぬ人・銀行の融資係等）、いくら借りるか（100円・5万円・1億円等）その額を必要とする理由（奨学金・ギャンブルの借金・家のローン・車が欲しい・子どもが病気等）をどうするか、全体の状況からどのようなスタイルの文で書くか（Sie や接続法 II 式を使いフォーマルに・du を使いストレートに等）は、架空の話で良いので、創造力を働かせ、自由に考えるようにさせる。</p> <p>③ 150 字程度の分量の謝金の申し込みの文章を、上記の項目にそって、理由を付けて書かせ、それを LMS に投稿させる。</p> <p>④ 作文の際は、できるだけ習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付けること付けること</li><li>・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるかを確認してから使う。</li></ul> <p>⑤ 第 2 週：投稿した作品を 15 分程度、各自目を通させる。次に前回と同じグループを作らせ、他のグループが投稿した作品の自分達のグループが書いたもの以外に対して、理由を付けてその借金の申し込みを断る手紙を考えさせ、レスポンスを付ける形で LMS に投稿させる。その際、相手は自由に選ばせるのではなく、あらかじめシャッフルして、教員が指定する。断る際も、値段、借金の目的、相手と自分の（架空の）関係を意識し、説得力のある形で断ること、また適切な文体を使うことも意識させる。</p> <p>⑥ 第 3 週：各人にそれぞれ 2 票を与え、最も説得力のある借金の申し込みをしたグループに投票させる。（1 つのグループに 2 票投じてもいいし、1 票ずつ分けて入れてもいいとする。）また、最も説得力のある断り方をしたグループにも同じように投票させる。</p>
ポイント	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 最初に本プロジェクトの課題と期日を明示しておく。</li><li>2) 本当に相手が貸したいと思えるようなシリアスな状況か、相手が笑い出すような面白いシチュエーションを考えるよう指導することが重要。</li><li>3) 個人作業でさせても良いが、すべての作業を 2～3 人のチームで行わせたほうが面白いアイデアが出やすい。</li><li>4) ちなみに、これは、学生の書いた作文をシャッフルして再度配り、さらに作文させるという形で、ICT のない時代か</li></ol>

プロジェクトシート

ら行われてきた古典的な作文プロジェクトの人気テーマである。